

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	広聴課広聴相談班				
事業名	さわやか県民相談(平成4年度～)				連絡先	078-362-3022				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額		
	事業費①	54,190千円		50,994千円		52,870千円		52,182千円		
	経費内訳	報酬・賃金	39,610千円		36,858千円		37,188千円		37,188千円	
		委託料	3,152千円		3,226千円		3,388千円		3,484千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	11,428千円		10,910千円		12,294千円		11,510千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(1,084千円)		(779千円)		(970千円)		(987千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[地域創生基金繰入金(地域振興基金繰入金)])	(725千円)		(728千円)		(729千円)		(746千円)	
		(一般財源)	(52,381千円)		(49,487千円)		(51,171千円)		(50,449千円)	
	人件費②(a+b+c)	従事人員	4.4人		4.4人		4.4人		4.4人	
			38,605千円		39,762千円		39,032千円		39,177千円	
		職員給与費 a	33,994千円		34,500千円		33,770千円		33,915千円	
		賞与引当金繰入額 b	2,002千円		2,398千円		2,398千円		2,398千円	
退職手当引当金繰入額 c		2,609千円		2,864千円		2,864千円		2,864千円		
総コスト(①+②)	従事人員	4.4人		4.4人		4.4人		4.4人		
		92,795千円		90,756千円		91,902千円		91,359千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】			
		目 標	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000			
	年間相談件数	実績(見込)	19,401	19,489	(19,002)	(25,000)	/			
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)				
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
		達成率(見込)	77.6%	78.0%	(76.0%)	(100.0%)				
	県民意識調査「イ 県政の広報・広聴活動」における「やっている」の割合	目 標	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%			
		実績(見込)	34.6%	32.9%	37.5%	(50.0%)	/			
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—				
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
達成率(見込)	69.2%	65.8%	(75.0%)	(100.0%)						
評価	<p>・各種専門相談の充実や、インターネットの普及により相談件数が低下傾向にある一方で、自らの抱える問題の相談先や相談相手が身近にいない高齢者等は増加しており、経験豊富な相談員(職員OB)が様々な事案における問題解決への誘導や専門相談窓口への案内など、相談者のニーズに合った相談対応により事前整理の役割を果たしている。</p> <p>・また、県政に関することから日常生活の様々な悩みや問題など、幅広い内容を気軽に相談できる窓口として需要があり、年間相談件数は約2万件あり、県民に身近な相談窓口としての役割を充分果たしている。</p>									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域振興課地域再生班				
事業名	地域再生大作戦の展開 （「がんばる地域」交流・自立応援事業） （平成25年度～）				連絡先	078-362-4314				
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額		
	事業費①	43,325 千円		25,050 千円		59,928 千円		90,444 千円		
	経費内訳	報酬・賃金								
		委託料								
		補助金・交付金	43,325 千円		25,050 千円		57,000 千円		86,500 千円	
		貸付金								
		その他需用費等					2,928 千円		3,944 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）							(5,000千円)	
		（県債）								
		（その他[地域創生基金]）	(43,325千円)		(25,050千円)		(59,928千円)		(85,444千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人
			17,548 千円		18,074 千円		17,742 千円		17,808 千円	
		職員給与費 a	15,452 千円		15,682 千円		15,350 千円		15,416 千円	
		賞与引当金繰入額 b	910 千円		1,090 千円		1,090 千円		1,090 千円	
退職手当引当金繰入額 c		1,186 千円		1,302 千円		1,302 千円		1,302 千円		
総コスト（①+②）		従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	
		60,873 千円		43,124 千円		77,670 千円		108,252 千円		
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】			
		実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	目 標	28	28	28	28			
		実績（見込）	23	28	(25)	(28)				
		（単位当たりコスト）	(2,647 千円)	(1,540 千円)	(3,107 千円)	(3,866 千円)				
		〔うち事業拡大分〕								
		達成率（見込）	82.1%	100.0%	(89.3%)	(100.0%)				
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目 標	81,500	124,500	166,000	206,500				
		実績（見込）	95,700	142,097	(166,000)	(206,500)				
		（単位当たりコスト）	(0.6 千円)	(0.3 千円)	(0.5 千円)	(0.5 千円)				
		〔うち事業拡大分〕								
	達成率（見込）	117.4%	114.1%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・ これまでに「地域再生大作戦」では、都市農村交流や賑わいづくり、コミュニティの再生などが図られてきたが、地域の自立に向けた事業の展開などが課題となっている。この課題に対し、地域の自立に向け、地域自らが地域力強化のために実施する取り組みに対して支援する必要がある。</p> <p>・ 地域の自由な発想による取組のきっかけとするための先進地視察・計画策定費・イベント開催・地域PRパンフレット作成費用相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。ハード整備の補助率は1/2としており、地元にも相応の負担を求めている。</p> <p>・ 着々と目標達成に向け進捗している。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</p>									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間		所管課班	地域振興課地域再生班					
事業名	地域再生大作戦の展開 (地域再生アドバイザー派遣事業) (平成26年度～)		連絡先	078-362-4314					
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	292千円	580千円	9,760千円	9,364千円				
	経費内訳	報酬・賃金			6,360千円	5,964千円			
		委託料							
		補助金・交付金	292千円	580千円	3,400千円	3,400千円			
		貸付金							
		その他需用費等							
	(財源内訳)	(国庫支出金)				(2,909千円)			
		(県債)							
		(その他[地域創生基金])	(292千円)	(580千円)	(9,760千円)	(6,455千円)			
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			8,774千円	9,037千円	8,871千円	8,904千円			
	職員給与費 a		7,726千円	7,841千円	7,675千円	7,708千円			
		賞与引当金繰入額 b	455千円	545千円	545千円	545千円			
退職手当引当金繰入額 c		593千円	651千円	651千円	651千円				
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		9,066千円	9,617千円	18,631千円	18,268千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	目標	20	25	25	25			
		実績(見込)	8	23	(21)	(25)			
		(単位当たりコスト)	(1,133千円)	(418千円)	(887千円)	(731千円)			
		[うち事業拡大分]							
	達成率(見込)	40.0%	92.0%	(84.0%)	(100.0%)				
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目標	81,500	124,500	166,000	206,500			
		実績(見込)	95,700	142,097	(166,000)	(206,500)			
		(単位当たりコスト)	(0.1千円)	(0.1千円)	(0.1千円)	(0.1千円)			
		[うち事業拡大分]							
達成率(見込)	117.4%	114.1%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・集落活動の維持・継続が困難になる集落等の増加が予想され、今後を見据えた将来構想や集落が支え合うしくみづくり等の検討に対する支援が必要である。 ・アドバイザー派遣による合意形成を促進するための先進地視察経費相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。 ・着々と目標達成に向け進捗している。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間				所管課班		地域振興課地域再生班						
事業名		地域再生大作戦の展開 (ふるさとにぎわい拠点整備事業) (平成27年度～)				連絡先		078-362-4314						
事業に要するコスト	区分		28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額					
	事業費①		7,550千円		18,493千円		77,350千円		61,800千円					
	経費内訳	報酬・賃金												
		委託料												
		補助金・交付金	7,550千円		18,493千円		77,300千円		61,750千円					
		貸付金												
		その他需用費等					50千円		50千円					
	(財源内訳)	(国庫支出金)							(5,000千円)					
		(県債)												
		(その他[地域創生基金])	(7,550千円)		(18,493千円)		(77,350千円)		(56,800千円)					
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
	人件費② (a+b+c)			従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人			
				17,548千円		18,074千円		17,742千円		17,808千円				
		職員給与費	a	15,452千円		15,682千円		15,350千円		15,416千円				
		賞与引当金繰入額	b	910千円		1,090千円		1,090千円		1,090千円				
退職手当引当金繰入額		c	1,186千円		1,302千円		1,302千円		1,302千円					
総コスト (①+②)		従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人					
		25,098千円		36,567千円		95,092千円		79,608千円						
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]						
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		28年度実績		29年度実績		30年度見込		31年度目標		最終目標【年度】	
	実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)		目標		3		3		-		-			
			実績(見込)		2		4		-		-			
			(単位当たりコスト)		(12,549千円)		(9,142千円)							
			[うち事業拡大分]											
	達成率(見込)		66.7%		133.3%									
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)		目標		81,500		124,500		166,000		206,500			
			実績(見込)		95,700		142,097		(166,000)		(206,500)			
			(単位当たりコスト)		(0.3千円)		(0.3千円)		(0.6千円)		(0.4千円)			
			[うち事業拡大分]											
達成率(見込)		117.4%		114.1%		(100.0%)		(100.0%)						
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化・高齢化が進むなか、合併市町の旧中心部等の活力が低下しつつあり、まちなかの賑わいの再生が急務である。定住人口の増加、新たな産業や雇用の創出など地域再生への成果が期待される先導的な大規模な取組に対して支援することで、目に見える元気の創出を図る。 ・合併市町の旧中心部の賑わいを再生する取組のきっかけとするためのイベント開催・地域PRパンフレット作成費用相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。ハード整備の補助率は1/2としており、地元にも相応の負担を求めている。 ・新規地区採択はH29で終了。H31は継続地区による計画に基づいた実践を支援する。 													
	3年目の見直し	—												

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間		所管課班	地域振興課地域再生班				
事業名	地域再生大作戦の展開 (集落連携計画策定事業) (平成27年度～)		連絡先	078-362-4314				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	3,235千円	3,263千円	10,402千円	10,405千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金	3,235千円	3,263千円	10,000千円	10,000千円		
		貸付金						
		その他需用費等			402千円	405千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)				(5,202千円)		
		(県債)						
		(その他[地域創生基金])	(3,235千円)	(3,263千円)	(10,402千円)	(5,203千円)		
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人		
			17,548千円	18,074千円	17,742千円	17,808千円		
		職員給与費 a	15,452千円	15,682千円	15,350千円	15,416千円		
		賞与引当金繰入額 b	910千円	1,090千円	1,090千円	1,090千円		
退職手当引当金繰入額 c		1,186千円	1,302千円	1,302千円	1,302千円			
総コスト (①+②)	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人			
		20,783千円	21,337千円	28,144千円	28,213千円			
	[うち事業拡大部分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		実施地区数	目標	10	10	10	10	
	地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	実績(見込)		4	11	(7)	(10)	
		(単位当たりコスト)		(5,196千円)	(1,940千円)	(4,021千円)	(2,821千円)	
		[うち事業拡大部分]						
		達成率(見込)		40.0%	110.0%	(70.0%)	(100.0%)	
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目標		81,500	124,500	166,000	206,500	
		実績(見込)		95,700	142,097	(166,000)	(206,500)	
		(単位当たりコスト)		(0.2千円)	(0.2千円)	(0.2千円)	(0.1千円)	
		[うち事業拡大部分]						
達成率(見込)		117.4%	114.1%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の集落の自立を基本としながら、集落単位では解決が難しい課題を、集落を越えた広域的単位で連携することにより解決を図り、住み続けられる地域づくりを支援する必要がある。 ・集落を越えた広域地域での組織づくりを進める基礎となる計画策定経費相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。 ・H30は集落の合意形成に時間がかかり採択数が低調であった。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間		所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	地域再生大作戦の展開 (小規模集落起業促進事業) (平成27年度～)		連絡先	078-362-4314			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	6,721 千円	7,924 千円	10,469 千円	20,969 千円		
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金	6,721 千円	7,924 千円	9,500 千円	20,000 千円	
		貸付金					
		その他需用費等			720 千円	969 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)				(10,484千円)	
		(県債)					
		(その他[地域創生基金])	(6,721千円)	(7,924千円)	(10,469千円)	(10,485千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人
			17,548 千円		18,074 千円		17,742 千円
		職員給与費 a	15,452 千円	15,682 千円	15,350 千円	15,416 千円	
		賞与引当金繰入額 b	910 千円	1,090 千円	1,090 千円	1,090 千円	
退職手当引当金繰入額 c		1,186 千円	1,302 千円	1,302 千円	1,302 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	
		24,269 千円		25,998 千円		28,211 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[10,000千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		実施地区数(累計) 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	目標	10	15	20	25
		実績(見込)	10	14	(19)	(25)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(2,427 千円)	(1,857 千円)	(1,485 千円)	(1,551 千円)	
		達成率(見込)	100.0%	93.3%	(95.0%)	(100.0%)	
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目標	81,500	124,500	166,000	206,500	
		実績(見込)	95,700	142,097	(166,000)	(206,500)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(0.3 千円)	(0.2 千円)	(0.2 千円)	(0.2 千円)	
		達成率(見込)	117.4%	114.1%	(100.0%)	(100.0%)	
	評価	<p>・過疎地域においてさらなる過疎化・高齢化が進むなか、働き口の減少、耕作放棄地の増大や獣害等、産業基盤の確保が大きな課題である。加えて、路線バスの廃止などによる公共交通の利便性低下、商店・スーパー等の閉鎖など集落における日常生活支援機能の低下が深刻な問題となっている。このため、生活支援サービスの事業化、直売所や特産品加工など地域で資金を循環させ、稼ぐしくみを構築することで、継続可能な地域づくりを進める。</p> <p>・外部人材と連携した地域事業の立ち上げにかかる資材購入・イベント開催・地域PRパンフレット作成費用相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</p> <p>・H31からは生活支援サービス事業での車両導入費支援を追加。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</p>					
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間		所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	地域再生大作戦の展開 (戦略的移住推進モデル事業) (平成28年度～)		連絡先	078-362-4314			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	8,200千円	6,520千円	18,401千円	22,401千円		
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金	8,200千円	6,520千円	18,000千円	22,000千円	
		貸付金					
		その他需用費等			401千円	401千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)				(11,200千円)	
		(県債)					
		(その他[地域創生基金])	(8,200千円)	(6,520千円)	(18,401千円)	(11,201千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人
			17,548千円	18,074千円	17,742千円	17,808千円	
		職員給与費 a	15,452千円	15,682千円	15,350千円	15,416千円	
		賞与引当金繰入額 b	910千円	1,090千円	1,090千円	1,090千円	
退職手当引当金繰入額 c		1,186千円	1,302千円	1,302千円	1,302千円		
総コスト (①+②)	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	
		25,748千円	24,594千円	36,143千円	40,209千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[8,000千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
	実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	目標	2	2	3	3	
		実績(見込)	2	2	(3)	(3)	
		(単位当たりコスト)	(12,874千円)	(12,297千円)	(12,048千円)	(13,403千円)	
		[うち事業拡大分]				[2,667千円]	
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目標	81,500	124,500	166,000	206,500	
		実績(見込)	95,700	142,097	(166,000)	(206,500)	
		(単位当たりコスト)	(0.3千円)	(0.2千円)	(0.2千円)	(0.2千円)	
		[うち事業拡大分]					
達成率(見込)	117.4%	114.1%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>・ 近年本県からの人口転出が続いている中、東京圏からのUJIターン促進を図るため平成28年1月「カムバックひょうご東京センター」を設置し、移住促進を進めているところである。同センターと連携して移住者を積極的に受け入れ、人口維持を図る地域をモデル的に支援することで、他地域への波及効果が見込まれ、UJIターンの促進につながる。</p> <p>・ 戦略的な移住者受け入れ体制の構築のための計画策定費や、移住イベント出展費・移住コーディネーター設置経費相当を補助限度額として設定し、モデル事業として必要最小限の支援としている。</p> <p>・ H31からは受入地域側による空き家を活用した住環境整備支援を追加。市町を通じて事業周知を図るとともに、モデル事業としての成果を発信し今後着実に事業を実施することにより、目標達成に努める。</p>						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調査

施策体系	豊かな生活空間		所管課班	地域振興課地域再生班					
事業名	地域再生大作戦の展開 (大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業) (平成28年度～)		連絡先	078-362-4314					
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	22,500 千円	17,680 千円	20,191 千円	15,677 千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	22,500 千円	17,680 千円	19,500 千円	15,000 千円			
		貸付金							
		その他需用費等			691 千円	677 千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)			(10,095千円)	(7,838千円)			
		(県債)							
		(その他[地域創生基金])	(22,500千円)	(17,680千円)	(10,096千円)	(7,839千円)			
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人
			17,548 千円	18,074 千円	17,742 千円	17,808 千円			
		職員給与費 a	15,452 千円	15,682 千円	15,350 千円	15,416 千円			
賞与引当金繰入額 b		910 千円	1,090 千円	1,090 千円	1,090 千円				
退職手当引当金繰入額 c		1,186 千円	1,302 千円	1,302 千円	1,302 千円				
総コスト (①+②)	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	
		40,048 千円	35,754 千円	37,933 千円	33,485 千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		地域創生拠点数(累計)	目 標	7	10	12	12		
	地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	実績(見込)	7	10	(12)	(12)			
	(単位当たりコスト)	(5,721 千円)	(3,575 千円)	(3,161 千円)	(2,790 千円)				
	[うち事業拡大分]								
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目 標	81,500	124,500	166,000	206,500			
		実績(見込)	95,700	142,097	(166,000)	(206,500)			
	(単位当たりコスト)	(0.4 千円)	(0.3 千円)	(0.2 千円)	(0.2 千円)				
	[うち事業拡大分]								
達成率(見込)	117.4%	114.1%	(100.0%)	(100.0%)					
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創生、地域再生の持続的な展開に当たっては、先進事例のノウハウや経験の共有、専門人材の有効活用、地域創生人材の育成等が不可欠である。地域創生拠点と大学、地域団体、行政等多様な主体の協働による持続可能な取組を全体的に推進する体制・枠組みの構築を図る。 ・拠点設置後の地域活動に必要な旅費や資材費等経費を補助限度額として設定し、拠点運営のための恒常的経費については大学等と地域等の負担とするなど、必要最小限の支援としている。また、ネットワーク形成のための会議開催費については、活動を持続的なものとしていくための拠点間交流や連携事業検討等を行うための必要最小限度の経費負担である。 ・拠点形成支援はH30に採択終了。今後は拠点の活動支援、他大学等の活動支援を行う。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間		所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	地域再生大作戦の展開 (地域運営組織法人化推進事業) (平成28年度～)		連絡先	078-362-4314			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	100 千円	2,008 千円	5,134 千円	10,232 千円		
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金	100 千円	2,008 千円	5,000 千円	10,000 千円	
		貸付金					
		その他需用費等			134 千円	232 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)			(2,567千円)	(5,116千円)	
		(県債)					
		(その他[地域創生基金])	(100千円)	(2,008千円)	(2,567千円)	(5,116千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人	
			17,548 千円	18,074 千円	17,742 千円	17,808 千円	
		職員給与費 a	15,452 千円	15,682 千円	15,350 千円	15,416 千円	
		賞与引当金繰入額 b	910 千円	1,090 千円	1,090 千円	1,090 千円	
退職手当引当金繰入額 c		1,186 千円	1,302 千円	1,302 千円	1,302 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人		
		17,648 千円	20,082 千円	22,876 千円	28,040 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[5,000千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
	実施地区数(累計) 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	目標	1	6	11	16	
		実績(見込)	1	3	(8)	(16)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(17,648 千円)	(6,694 千円)	(2,860 千円)	(1,753 千円)	
		達成率(見込)	100.0%	50.0%	(72.7%)	(100.0%)	
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目標	81,500	124,500	166,000	206,500	
		実績(見込)	95,700	142,097	(166,000)	(206,500)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(0.2 千円)	(0.1 千円)	(0.1 千円)	(0.1 千円)	
		達成率(見込)	117.4%	114.1%	(100.0%)	(100.0%)	
	評価	<p>・これまでの「地域再生大作戦」の取り組みにより、特産品づくりや商品開発が一定の事業収益を上げる地域も現れ始めている。こうした地域資源を活かした取組は、第1次産業を基盤とする多自然地域においては、地域住民の所得創出のみならず生活の質の向上や生きがい創出にも寄与している。地域団体の法人化を進めることで、財産管理や収益配分のしくみを構築し、運営の透明化を図ることで、さらなる地域経済活動の持続的な展開を支援する。</p> <p>・地域活動の自立的・継続的運営のための法人化にかかるアドバイザー経費・法人設立経費相当等の初期経費を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</p> <p>・着々と目標達成に向け進捗している。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</p>					
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	11 豊かな生活空間				所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	地域再生大作戦の展開（県版地域おこし協力隊の設置）（平成31年度～）				連絡先	078-362-4314			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①							86,640 千円	
	経費内訳	報酬・賃金							0 千円
		委託料							86,640 千円
		補助金・交付金							0 千円
		貸付金							0 千円
		その他需用費等							0 千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）							(43,320千円)
		（県債）							(0千円)
		（その他[市町負担金、地域創生基金]）							(43,320千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.0人	従事人員	0.0人	従事人員	0.0人	従事人員	1.0人
		0 千円		0 千円		0 千円		8,904 千円	
職員給与費 a							7,708 千円		
	賞与引当金繰入額 b						545 千円		
	退職手当引当金繰入額 c						651 千円		
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員	1.0人	
	0 千円		0 千円		0 千円		95,544 千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		目 標				30			
	県版地域おこし協力隊の設置人数	実績（見込）				(30)			
		（単位当たりコスト）				(3,185 千円)	/		
		[うち事業拡大分]							
		達成率（見込）				(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目 標				206,500			
		実績（見込）				(206,500)			
		（単位当たりコスト）				(0.5 千円)	/		
		[うち事業拡大分]							
達成率（見込）				(100.0%)					
評価	<p>・各市町が地域おこし協力隊等外部人材を流入しているが、集落の高齢化や人口減少のスピードが速く、集落の人材不足が解消されないことから、県版地域おこし協力隊の導入により集落への人的支援を強化する。</p> <p>・国の地域おこし協力隊制度の要件に合致しない人材を県版地域おこし協力隊の対象とすることで、集落への人的支援の幅が広がる。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間			所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	地域再生大作戦の展開（「五国の元気づくり交流拠点モデル」支援事業）（平成31年度～）			連絡先	078-362-4314			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①				29,994千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料				29,994千円		
		補助金・交付金						
		貸付金						
		その他需用費等						
	（財源内訳）	（国庫支出金）				(14,997千円)		
		（県債）						
		（その他[地域創生基金]）				(14,997千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 1.0人
		0千円	0千円	0千円	8,904千円			
職員給与費 a					7,708千円			
賞与引当金繰入額 b					545千円			
退職手当引当金繰入額 c					651千円			
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 1.0人	
		0千円	0千円	0千円	38,898千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		来店者数	目標			170,000		
		実績（見込）				(170,000)		
		（単位当たりコスト）				(0.2千円)		
		[うち事業拡大分]						
		達成率（見込）				(100.0%)		
	交流拠点を活用した地域イベントの実施数	目標				5		
		実績（見込）				(5)		
		（単位当たりコスト）				(7,780千円)		
		[うち事業拡大分]						
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目標				206,500		
		実績（見込）				(206,500)		
（単位当たりコスト）					(0.2千円)			
[うち事業拡大分]								
	達成率（見込）				(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域再生大作戦の取組により活性化しつつある地域を側面的に支援し、多自然地域ならではの魅力を都市部に広め、地域、集落自体の認知度向上、販路の拡大などを図ることで、地域の自立を後押しする。 ・集荷の簡素化等による輸送コスト削減への取組、大型小売店への出荷などによる販売網の拡大など、費用削減及び収益向上の取組を図りつつ、自立経営を目指し事業を進める。 ・年間約17万人の都市住民利用者が見込める元町マルシェを多自然地域の情報発信、交流拠点とすることで、都市と農村双方向の情報交流を促進する。 							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	田舎暮らし楽農生活応援事業(平成28年度～)				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	3,668千円	5,843千円	15,150千円	15,150千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	2,100千円	2,000千円	2,200千円	2,200千円			
		補助金・交付金	1,250千円	3,600千円	12,500千円	12,500千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	318千円	243千円	450千円	450千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	1,834千円	2,921千円	7,575千円	7,575千円			
		(県債)	0千円	0千円	0千円	0千円			
		(その他[地域創生基金])	0千円	0千円	7,575千円	7,575千円			
		(一般財源)	(1,834千円)	(2,922千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人			
			3,509千円	3,614千円	3,548千円	3,561千円			
		職員給与費 a	3,090千円	3,136千円	3,070千円	3,083千円			
		賞与引当金繰入額 b	182千円	218千円	218千円	218千円			
退職手当引当金繰入額 c		237千円	260千円	260千円	260千円				
総コスト(①+②)	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人				
		7,177千円	9,457千円	18,698千円	18,711千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
事業目的の達成度を示す指標	楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		目 標		1,130	1,135	1,140	1,145	1,200	
		実績(見込)		1,118	1,186	(1,140)	(1,145)	【37年度】	
		(単位当たりコスト)		(6千円)	(8千円)	(16千円)	(16千円)	/	
	[うち事業拡大分]		—	—	—	—			
	達成率(見込)		98.9%	104.5%	(100.0%)	(100.0%)			
	達成率(見込)		98.9%	104.5%	(100.0%)	(100.0%)			
	田舎暮らし農園施設整備、空き家改修の実施地区数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム(目標))	目 標		10	10	10	10	累計60	
		実績(見込)		2	5	(10)	(10)	【33年度】	
		(単位当たりコスト)		(3,588千円)	(1,891千円)	(1,870千円)	(1,871千円)	/	
[うち事業拡大分]			—	—	—	—			
達成率(見込)		20.0%	50.0%	(100.0%)	(100.0%)				
達成率(見込)		20.0%	50.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> 定住や二地域居住を支援する施設整備(ハード)事業と研修(ソフト)事業を合わせて実施することで、有効かつ効果的な事業となり、農村部の活性化を図り、地域創生を推進することができる。 地元市町や県民局等の関係機関と連携して、効果的に事業周知を進めるなど、最低限のコストで効率的な事業実施に努める。 引き続き都市住民が農山村を訪れ、農作物の栽培体験など『農』に関わる仕組みを創出していくことにより目標達成に努める。 (参考 H31当初から空き家を活用して農林漁業体験民宿を整備する場合、補助上限額を1,000千円→1,500千円に拡充)								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間		所管課班	住宅政策課住宅政策班				
事業名	オルト・ニュータウンの再生 (オルト・ニュータウン再生事業(明舞団地)、郊外型住宅団地再生先導的支援事業)		連絡先	078-362-3595(オルト・ニュータウン) " (郊外型)				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	8,208千円	2,536千円	16,811千円	15,042千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料	7,166千円	2,529千円	2,242千円	2,052千円		
		補助金・交付金			12,585千円	10,826千円		
		貸付金						
		その他需用費等	1,042千円	7千円	1,984千円	2,164千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(4,104千円)	(1,267千円)	(5,738千円)	(5,328千円)		
		(県債)						
		(その他[地域創生基金])			(5,738千円)			
		(一般財源)	(4,104千円)	(1,269千円)	(5,335千円)	(9,714千円)		
	人件費②(a+b+c)	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人		
			17,548千円	18,074千円	17,742千円	17,808千円		
		職員給与費 a	15,452千円	15,682千円	15,350千円	15,416千円		
賞与引当金繰入額 b		910千円	1,090千円	1,090千円	1,090千円			
退職手当引当金繰入額 c		1,186千円	1,302千円	1,302千円	1,302千円			
総コスト(①+②)	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人			
		25,756千円	20,610千円	34,553千円	32,850千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[4,500千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		コミュニティ再生活動団体登録数 (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	3.0	3.0	3.0	3.0	-
		実績(見込)	3.0	3.0	(3.0)	(3.0)		
		(単位当たりコスト)	(8,585千円)	(6,870千円)	(11,518千円)	(10,950千円)		
		[うち事業拡大分]						
		達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	新たに再生に向けた協議会等を設立した団地数 (21世紀長期ビジョン・活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	2	2	2	2	-	
		実績(見込)	0	4	(1)	(2)		
		(単位当たりコスト)	-	(5,153千円)	(34,553千円)	(16,425千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)	0.0%	200.0%	(50.0%)	(100.0%)			
評価	<p>県内のニュータウンの先駆けである明舞団地においては、コミュニティ再生活動団体登録数が概ね目標通りに推移している。引き続き住民主体のまちづくりモデル事業を実施するとともに、31年度は新たにサブセンター等の空き区画の活用を支援し、その再生の取組成果を他のニュータウンに周知するとともに、地域や市町が実施する再生に向けた取り組みを支援する必要がある。</p> <p>郊外型住宅団地再生先導的支援事業では28年度からの出前講座等の実施により29年度は協議会設立団地数が伸びたが、30年度は実績が伸び悩んでいることから、引き続き地域への出前講座や地元市町へのニュータウン再生の必要性を周知し、再生に取組む地元活動団体等を支援する体制を整え、目標の達成を図る。</p>							
	3年目の見直し	-						

事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間			所管課班		住宅政策課住宅政策班					
事業名		優良な住宅ストックの有効活用 (空き家活用支援事業、古民家再生促進支援事業、インスペク ション普及支援事業)			連絡先		078-362-3581(インスペク ション) 078-362-3583(空き家活用及 び古民家再生)					
事業に要するコスト	区分		28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額			
	事業費①		65,477千円		49,590千円		123,632千円		143,659千円			
	経費内訳	報酬・賃金										
		委託料	3,730千円		4,022千円		3,731千円		4,240千円			
		補助金・交付金	61,723千円		45,168千円		119,598千円		139,144千円			
		貸付金										
		その他需用費等	24千円		400千円		303千円		275千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(32,738千円)		(24,795千円)		(61,815千円)		(66,737千円)			
		(県債)										
		(その他[地域創生基金])					(61,817千円)		(20,911千円)			
		(一般財源)	(32,739千円)		(24,795千円)				(56,011千円)			
	人件費② (a+b+c)		従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人		
			26,322千円		27,111千円		26,613千円		26,712千円			
	職員給与費 a		23,178千円		23,523千円		23,025千円		23,124千円			
	賞与引当金繰入額 b		1,365千円		1,635千円		1,635千円		1,635千円			
退職手当引当金繰入額 c		1,779千円		1,953千円		1,953千円		1,953千円				
総コスト (①+②)		従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人			
		91,799千円		76,701千円		150,245千円		170,371千円				
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[15,500千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		28年度実績		29年度実績		30年度見込		31年度目標	最終目標【年度】
	空き家活用支援事業の実施件数(21世紀長期ビジョン・活力あるふるさと兵庫実現プログラム)		目標		50		67		70		80	—
			実績(見込)		48		28		(35)		(80)	
			(単位当たりコスト)		(1,912千円)		(2,739千円)		(4,293千円)		(2,130千円)	
			[うち事業拡大分]									
	達成率(見込)		96.0%		41.8%		(50.0%)		(100.0%)			
	古民家再生促進支援事業改修工事費補助の実施件数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))		目標		5		5		5		5	—
			実績(見込)		3		3		(3)		(5)	
			(単位当たりコスト)		(30,600千円)		(25,567千円)		(50,082千円)		(34,074千円)	
			[うち事業拡大分]								[3,100千円]	
達成率(見込)		60.0%		60.0%		(60.0%)		(100.0%)				
評価	間もなく、団塊の世代が相続期を迎え、空き家が急激に増加することが予想される。そのため、空き家の発生を抑えるとともに、空き家や古民家の利活用の推進を図る施策が必要である。 空き家活用支援事業・古民家再生促進支援事業ともに、平成29年度より一定の耐震性能を有することを要件に含めたことにより事業実績が伸び悩んでいるが、事業の周知は進みつつあり、また、随伴補助を行う市町数も増加しているため、事業実施件数は増加していくものと予想される。 さらに、平成31年度からは、古民家再生促進支援事業において、より面的な再生が促進されるよう、歴史的景観形成地区等に限り、賃貸住宅として再生する施設を補助対象に追加する。											
	3年目の見直し	—										

事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間		所管課班		都市計画課土地利用班		
事業名		まちなか再生協議会等の運営支援		連絡先		078-362-9296		
事業に要するコスト	区 分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①		2,700 千円	4,966 千円	15,000 千円	17,500 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	900 千円	3,350 千円	7,500 千円	9,150 千円		
		委託料						
		補助金・交付金	1,800 千円	1,616 千円	7,500 千円	7,500 千円		
		貸付金						
		その他需用費等				850 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(1,350千円)	(2,483千円)	(7,500千円)	(500千円)		
		(県債)						
		(その他[地域創生基金])			(7,500千円)	(500千円)		
		(一般財源)	(1,350千円)	(2,483千円)	(0千円)	(16,500千円)		
	人件費② (a+b+c)		従事人員 2.0人	従事人員 2.0人	従事人員 2.0人	従事人員 2.0人		
			17,548 千円	18,074 千円	17,742 千円	17,808 千円		
	職員給与費 a		15,452 千円	15,682 千円	15,350 千円	15,416 千円		
	賞与引当金繰入額 b		910 千円	1,090 千円	1,090 千円	1,090 千円		
退職手当引当金繰入額 c		1,186 千円	1,302 千円	1,302 千円	1,302 千円			
総コスト (①+②)		従事人員 2.0人	従事人員 2.0人	従事人員 2.0人	従事人員 2.0人			
		20,248 千円	23,040 千円	32,742 千円	35,308 千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[1,000千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
	まちなか再生計画策定件数 (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標		2	3	4	5	—
		実績(見込)		1	2	(4)	(5)	
		(単位当たりコスト)		(20,248 千円)	(11,520 千円)	(8,186 千円)	(7,062 千円)	
		[うち事業拡大分]					[20千円]	
	達成率(見込)			50.0%	66.7%	(100.0%)	(100.0%)	
	前年度と比較してにぎわいのまちづくりが進んだと回答した協議会の数	目 標		—	—	5	6	—
		実績(見込)				5	6	
		(単位当たりコスト)		—	—	(6,548 千円)	(5,885 千円)	
		[うち事業拡大分]					[20千円]	
達成率(見込)			—	—	(100.0%)	(100.0%)		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗の増加等が進む商店街とその商圏となる周辺住宅地において、商店街の活性化及びまちの再整備に資する施策を総合的に実施する必要がある。 ・着実に成果は上がっているが、目標達成のためには今後も継続した事業実施が必要である。 ・平成31年度から各協議会の知見を集約・昇華する連合体「まちなか再生会議」を設立し、研修、情報共有、意見交換等を実施する。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間			所管課班	住宅政策課住宅政策班			
事業名	まちなかりノベーション推進事業			連絡先	078-362-3581			
事業に要するコスト	区 分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①					12,000 千円		
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金					12,000 千円	
		貸付金						
		その他需用費等						
	(財源内訳)	(国庫支出金)						(6,000千円)
		(県債)						
		(その他[特定(地域創生基金)])						(6,000千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 1.0人
				0 千円	0 千円	0 千円	8,904 千円	
職員給与費 a						7,708 千円		
賞与引当金繰入額 b						545 千円		
退職手当引当金繰入額 c						651 千円		
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 1.0人	
			0 千円	0 千円	0 千円	20,904 千円		
	[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【33年度】	
	まちなかりノベーション推進事業により設立されたまちづくり会社数	目 標				1	3	
		実績(見込)				(1)	(累計)	
		(単位当たりコスト)					/	
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)				(100.0%)			
	まちなかりノベーション実施回数	目 標				3	9	
		実績(見込)				(3)	(累計)	
(単位当たりコスト)					(6,968 千円)	/		
[うち事業拡大分]								
達成率(見込)				(100.0%)				
評価	<p>商店街などの中心市街地だけでなく、商店街の周辺地域やニュータウン等の遊休不動産の活用することで、まちの再生・活性化を図る。</p>							
3年目の見直し	<p style="text-align: center;">—</p>							